

H30年度市民提案型協働事業実施報告

災害時の水の確保「災害時協力井戸」 協力者拡大と看板リニューアル



秦野市保健福祉センター
H31年 5月18日 なでしこ防災ネット

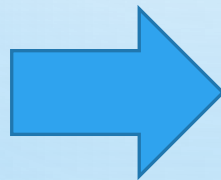
災害時協力井戸・湧水MAP作成（国土地理院承認）

災害協力井戸とは？

市民や企業の方々が所有する井戸を事前に登録してもらい、災害時に水道施設が復旧するまでの間、ご近所の方々に開放していただき、生活用水を確保しようとするもの

目的

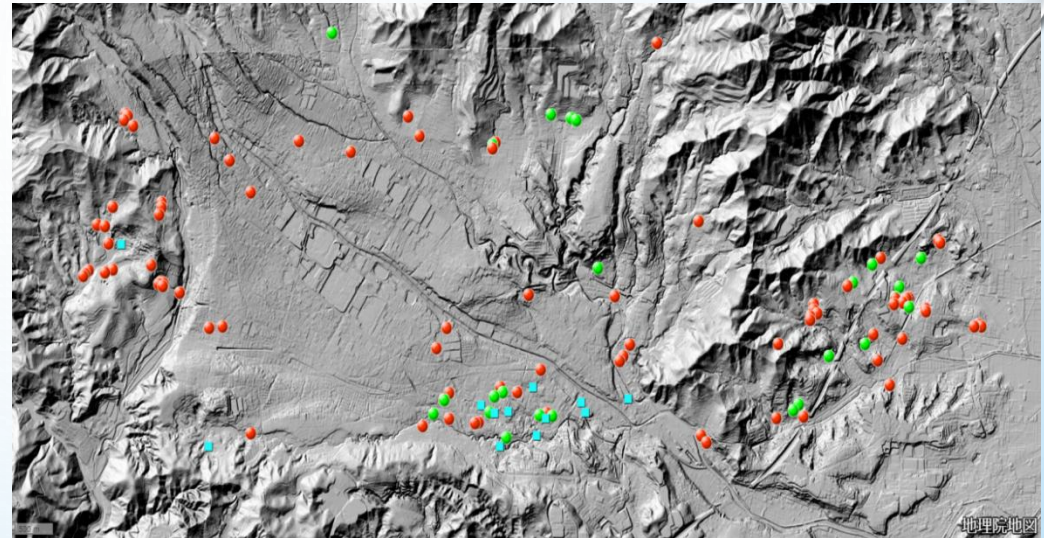
災害時に生活用水として提供される井戸を登録し、地域へ情報提供を行うことにより、災害時における市民の生活用水の確保及び公衆衛生の維持を図る。



古い看板を新しい看板にリニューアル

新規登録者開拓

地の利を活かした防災対策



井戸・湧水の航空写真作成

- ・4本の川がつくる複合扇状地
- ・三方を山に囲まれた盆地
- ・2本の活断層（洗沢断層、秦野断層）
- ・秦野盆地湧水群は全国名水100選

災害時に必要な水についての意識調査と協力依頼PR活動 1 2 回



関連する活動

中学生、高校生対象の防災ボランティア講座開催 4回 62名

水場探しと水場清掃活動 8回 93名

「水・気象・自然災害」ワークショップ開催(79名参加)

防災に興味・関心をもってもらえた



ダンボールトイレ作り



ビニール袋でpizza作り



簡易浄水器作成



搬送訓練



茨城県積水ハウスエコ・ファーストパーク視察研修会



心肺蘇生法とAED操作



温暖化防止機材の展示と体験

水場さがしと水質保全活動



うまい水、まずい水、災害時の水

湧水地の見学会



湧水探しと水場清掃

湧水



「水・気象・自然災害」ワークショップ開催

東地区の水場探しと水場清掃活動

湧水探しと水場清掃

成果物

(1) 登録件数・看板設置件数 : 118件 130ヶ所

継続登録件数 : 85件 92ヶ所

新規登録件数 : 33件 38ヶ所

▶(2) 井戸・湧水協力者一覧表作成

▶(3) 井戸・湧水協力者写真リスト作成

(4) 災害時協力井戸・湧水MAP作成(国土地理院承認)

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平30情複、第1554号)」

①A3もしもの時の災害時協力井戸・湧水MAP(両面)

②A1展示用MAP(ラミネート加工)

▶(5) 点訳版MAP作成

▶(6) 大型手書き展示PR用MAP作成

▶ (2) 井戸・湧水協力者一覧表作成

井戸・湧水所在地一覧【西地区】												
No	所在地	種別	所有者名	住所	自主防災会名	備考	電話	形式	水勢	状況	協力	敷地内位置
1	堀西-----	井戸	〇〇〇〇	堀西-----	沼代第2自主防災会	死亡	△△△	4	1	3	○	中央奥
2	沼代新町---	井戸	〇〇〇〇	沼代新町---	沼代第3自主防災会	死亡 停電時も使用	△△△	4	±	±	×	分譲、埋立
3	堀山下---	井戸	〇〇〇〇	堀山下---	宮久保自主防災会	死亡 停電時も使用	△△△	3	1	1	○	左中奥

7度行っても留守
看板不要、前の方がいい

*型式→ 1 電動ポンプ式、停電時不可 2 電動ポンプ式、停電時可 3 手動ポンプ式 4 汲み上げ式

*水勢→ 1 良好 2 不良(水量が少ない) 3 枯渇 4 不明

*状況→ 1 生活用水(飲料用は除く) 2 生活用水+飲料用 3 使用していない

新	堀山下----	井戸	〇〇〇〇	堀山下----		停電時も使用可	△△△	2	1	1	○	左中奥
新	堀山下----	井戸	〇〇〇〇	堀山下----		停電時も使用可	△△△	2	1	1	○	左前奥
新	堀山下----	井戸	〇〇〇〇	堀山下----		停電時も使用可	△△△	2	1	1	○	温室の中
新	渋沢上---	井戸	〇〇〇〇	渋沢上---			△△△				○	

災害時における井戸・湧水協力者リスト作成 130ヶ所

所有者又は管理者宅へ訪問(現況調査・新看板設置依頼)53日、106名

新看板と進捗状況展示 PR 12回 新規登録 38ヶ所

活動のメリット

災害時に刻々と変化する水のニーズに応じて、補給水源として役立つ

災害時における市民の生活用水の確保及び公衆衛生の維持が図れる

井戸の場所が一目でわかるようになる

(3) 井戸・湧水協力者写真リスト作成

写真 北 (NO.は井戸・湧水所在地一覧の番号)



菩提 42



羽根 37



羽根 36



菩提 38



41-1



41-2



41-3



41-4



39



107



114



115

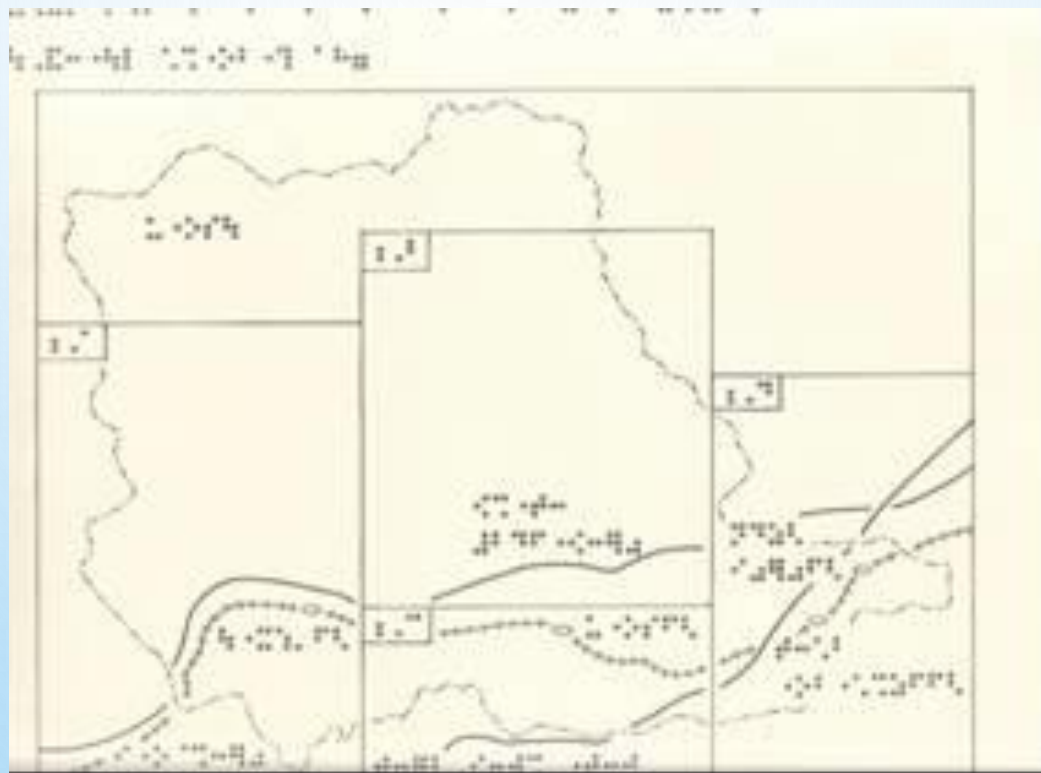
(個人情報に配慮したMAP) 湧水箇所、水場を現況把握した防災マップを作成



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平30情複、第1554号)」

②A1展示用MAP(ラミネート加工)

(5) 点訳版MAP作成



マップを触地図にした

協働事業のメリット

市民のメリット

- ・災害時に刻々と変化する水のニーズに応じて、補給水源として役立つ。
- ・井戸の場所が一目でわかるようになる。

団体のメリット

- ・行政が連絡・調整を担うことで、所有者や地域の協力が得られ、ボランティアが突然訪問しても警戒されずに地図への掲載許可と災害時の協力依頼ができる。

市のメリット

- ・団体の視点とノウハウが活用できる。また、団体が自主的に行い、市内中学生と一緒に活動することで、防災教育と次世代育成の促進ができる。

【今後の展望】

災害時協力井戸マップをもとに、生活用水を確保すること、

その手段を確立しておくことの重要性や水資源環境の
保護や維持する意識への

学習会や講演会、フィールドワーク、ワークショップ
などを実施する